

新日本婦人の会第32回全国大会決定

新日本婦人の会は11月3日、以下の大会決定を全会一致で採択しました。

歴史の岐路、いのちと地球をまもれ 要求実現へ行動する新婦人いまこそ大きく

第1章 戦後・被爆80年、 日本と世界の女性・市民がともに

「こんな日本でいいのか」「自民党政治はもう終わりに」――裏金問題と経済無策への有権者の怒りは、自民・公明両党を衆参両院とも少数与党に追い込み、石破内閣の退陣、そして26年続いた自公連立政権の崩壊につながりました。しかも、にわかに関連した自民・維新の高市政権は、選挙での審判を無視し、企業団体献金の禁止や消費税減税を棚上げにしています。改憲と大軍拡、スパイ防止法、医療費削減をすすめる超タカ派の本質をあらわにし、自民党を補完する他の政党とも連携をつよめています。初の女性首相となつた高市氏は、労働時間規制の緩和をねらい、選択的夫婦別姓をあくまでも阻むなどジェンダー平等を妨害しています。突然の衆院比例50議席削減案は、国民の声を国会から締め出す

し、与党政治に反対する野党の排除をねらうものです。賃金も年金も追いつかない物価高、主食の米さえ市場任せで供給不足と価格高騰は暮らしを直撃しています。気候変動による猛暑や豪雨はいのちや暮らし、農林漁業を脅かし、熊の出没など生態系にも影響しています。能登半島をはじめ被災地は放置され、東京電力福島第一原発事故から来年で15年、事故がなかったかのように、各地で原発の再稼働、新增設へと回帰しようとしています。非正規雇用と貧困を拡大し、大企業や富裕層には大幅減税、庶民には消費税増税や社会保障削減、高い教育費や競争・管理の教育などを押し付け、小中学校の不登校児童生徒が過去最多の35万人を超えました。子どもを産みたくても産めない

社会、富が一極集中する新自由主義の政治は、もはや破綻しています。日本でも世界でも、貧富の極端な格差、加速する気候危機、ロシアのウクライナ侵略など止まぬ戦火に直面しています。イスラエルによるガザでのジェノサイドに世界中で抗議と批判が高まる中、ようやく停戦が発効しました。戦闘の完全終結と軍の全面撤退、何より食料など人道支援が急がれます。

国連女性差別撤廃条約批准40年、北京会議から30年、女性たちは「個人的なことは政治的なこと」と、暮らしや平和、ジェンダー平等でも声をあげ、政治を動かしています。DV被害者を追いつめる離婚後共同親権に反対し、選択的夫婦別姓実現へ共同を広げ、28年ぶりに国会審議入りさせました。当事者の告発で、あらゆる分野の性暴力やハラスメントが明るみになり、社会問題となっています。国連女性差別撤廃委員会(CEDAW)の第9次日本報告書(24年10月)は、新

婦人など日本のNGOの働きかけで全面的な勧告を日本政府に突き付けましたが、148カ国中118位という男女平等度を引き上げる政治的意思はありません。復古主義・家父長的な家族観を復活させようとするジェンダーバックラッシュの新たな動きは見過ごせません。戦後・被爆80年、戦争か平和かの重大な岐路に

ます。軍事研究を拒否する日本学術会議の解体まで強行しました。各国で暮らした不安、先が見えない政治への不満に乘じて、極右勢力が台頭しています。日本でもデマと外国人差別、排外主義の参政党が議席を伸ばしました。同党代表の女性ベツェンダー平等でも声をあげ、政治を動かしています。DV被害者を追いつめる離婚後共同親権に反対し、選択的夫婦別姓実現へ共同を広げ、28年ぶりに国会審議入りさせました。当事者の告発で、あらゆる分野の性暴力やハラスメントが明るみになり、社会問題となっています。国連女性差別撤廃委員会(CEDAW)の第9次日本報告書(24年10月)は、新

国連女性差別撤廃条約批准40年、北京会議から30年、女性たちは「個人的なことは政治的なこと」と、暮らしや平和、ジェンダー平等でも声をあげ、政治を動かしています。DV被害者を追いつめる離婚後共同親権に反対し、選択的夫婦別姓実現へ共同を広げ、28年ぶりに国会審議入りさせました。当事者の告発で、あらゆる分野の性暴力やハラスメントが明るみになり、社会問題となっています。国連女性差別撤廃委員会(CEDAW)の第9次日本報告書(24年10月)は、新

力を含ませましよう。憲法が生きる新しい政治の実現が今こそ求められています。「五つの目的」を掲げ、草の根から行動し、世代を超えてつながる新婦人は希望です。暮らしや平和、ジェンダー平等、気候正義を新婦人でいっしょにと、たくさんの方を迎えて誰もが自分らしく生きられる社会をみんなで築いていきましょう。



新日本婦人の会第32回全国大会の様子

被爆80年の年に、班や支部からの原爆展が全国でとりくまれました。新婦人しんぶんを読んでもおしゃべりする「しんぶんタイム」を班でも要求別組(サークル)でもつよめたことが、行動する班と会員を増やし、運動と組織活動を一体に推進する力となりました。ヘイトと分断が持ち込まれた参院選のなかでも、選挙班会・しんぶんタイムや選挙カフェで、「ここでなら安心してしゃべれる」と、政治のおしゃべりになり、スタンディングなどの運動や仲間づくりにつながりました。行動する新婦人に共

らなる行動を呼びかけています。戦後の出発点は、「戦争の惨害から将来の世代を救う」とうたった国連憲章と、侵略戦争と植民地支配の反省から不戦を誓った日本国憲法です。95カ国の署名、74カ国の批准に広がっている核兵器禁止条約と日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)のノーベル平和賞受賞は、核抑止論が破綻し、核廃絶しかないこと全世界にさ

1、この間の活動に共通する特徴

2、全国でとりくんできた運動と仲間づくり

(1) 原爆の絵展の広がり、基地強化やめよの行動

班からスーパーや銀行、公民館など身近な場所で開催し、「高校生原爆の絵」は小中学校で平和学習として歓迎されています。小組作品展や体験会と一緒に、折り鶴コーナーやシルク折り鶴など対話を広げる工夫をして、新婦人作製のパネル・ポスター、入会申込書付きリーフも活用